

一心寺門前浪曲寄席鑑賞会 第5回

令和5年2月13日(月)、天王寺・一心寺門前浪曲寄席鑑賞のため一心寺南会所に参集しました。親鴨会で浪曲鑑賞会を始めて、今回で5回目です。昨年、一昨年とコロナ禍により開催中止を余儀なくされ、久しぶりの開催です。

今回は、JR天王寺駅集合にせず、直接一心寺南会所へ集合としました。参加者は常連の6名(下記写真参照)でした。

会場一心寺南会所ではコロナ対策をいろいろとっておられました。観客の入りを心配しておりましたが、開始時刻には結構観客は多く、浪曲ファンは健在でした。

浪曲寄席、午後1時開演。本日の演者は4人の浪曲師。
天中軒雲月、天光軒新月、春野一、京山幸乃 各師です。
天中軒雲月師は「中山安兵衛婿入り」、堀部家への婿入りを断れきれない安兵衛の苦勞を、雲月節が聞かせてくれました。
天光軒新月師は「乃木将軍と孝行兵士」、乃木将軍題材の浪曲は数多いのですがこの話は初めて聞きました。ベテラン新月師に聞きほれる舞台でした。
春野一師は「高田馬場」、まだ怪我が癒えておらず声に張りがなくて、期待外れです。
京山幸乃師は「飛鳥山」、幸枝若の弟子になって5年の若手。思いのほか声もよく、思わず涙を流してしまった舞台、好演でした。今後期待ができる浪曲師です。

年に何度か楽しむ浪曲、今回も充実した時間を持つことができました。皆さんにも十分満足していただけたと思います。終了後帰り道、皆で阿倍野地下街のおでん屋で軽く一杯。コロナで皆と楽しむ機会の少なかった当節、楽しいひと時を持つことができました。

来年度もまた是非「一心寺門前浪曲寄席」を実施したいと思います。

参加者全員 記念写真： 何と、京山幸枝若師が参加くださいました。



前列：
瀬並和弘
後列：左より
今中英一、
西野信夫、
京山幸枝若師
有賀清隆
入田泰壽、
西田義雄

文責：親鴨会関西幹事 西田義雄